

## 横浜中央地区家族会総会に参加 連携強化でより良い募集環境構築へ



自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 狩野圭2等陸尉）は、6月28日（土）、横浜中央地区家族会総会に参加した。

横浜中央地区区会は、公益社団法人自衛隊家族会・神奈川県自衛隊家族会の地区組織として、上部団体の活動に協力しながら、自衛隊員の家族という共通の立場で親睦や相互激励を深めることを目的に活動している。

家族会の皆さまには、自衛隊の募集活動へのご協力をはじめ、艦艇の入出港行事や防衛講演会の案内などを通じて、自衛隊の広報活動にも多大なご尽力をいただいている。

総会では、前年度の活動報告や主要事業の成果についての説明が行われ、参加者による活発な意見交換もなされた。令和7年度の活動方針として、社会の変化に対応しつつ内部体制の充実を進め、役員会の開催や神奈川県家族会との連携を通じて、地域に根ざした活動のさらなる推進を目指すことが示された。

総会の締めくくりとして、神奈川県地方協力本部の大合本部長による防衛講話が行われ、自衛官の募集を取り巻く現状や、防衛基盤の拡充に関する取り組みについて説明があり、家族会としての認識と理解を一層深める機会となった。

横浜中央募集案内所は、「昨今の募集環境が厳しい中、家族会の皆さまには日頃から大変お世話になっており、ご理解とご協力に心から感謝している。今後も連携を一層深め、より良い募集環境の構築に努めていきたい」としている。

## 「湘南ひらつか七夕まつり」で自衛隊広報ブースを出展



自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 兒玉憲幸1等陸尉）は、7月5日（土）、「湘南ひらつか七夕祭り」において自衛隊広報ブースを出展した。

本まつりは日本三大七夕まつりの一つとして知られる伝統的な催しで、7月4日（金）からの3日間にわたり開催された。会場には豪華絢爛な七夕飾りが100本以上掲出され、数多くの露店や地元商店街によるイベントが行われ、期間中は100万人を超える来場者でにぎわった。

広報ブースでは、陸・海・空自衛隊の職種紹介パネルの展示のほか、制服や迷彩服の試着体験を実施。大人用・子ども用ともに用意し、記念撮影を楽しむ来場者の姿が多く見られた。また、「南極の氷」体験コーナーでは、「南極の氷触るっ」「冷たくて気持ちいいね」といった声が上がると、幅広い世代に人気を博し、自衛隊への理解と親しみを深めてもらう貴重な機会となった。

制度説明コーナーでは、「今まで疑問に思っていたことを解消できた」と語る学生や保護者もおり、自衛隊を将来の選択肢として前向きに検討する姿も見られた。

平塚地域事務所は、「今後も地域の行事やイベントに積極的に参加し、広報活動を通じて自衛隊への理解促進に努めていく」としている。

